



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月14日

上場会社名 株式会社デルソーレ 上場取引所 東
 コード番号 2876 URL <https://www.del-sole.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)和田 隆介
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)堀田 正博 (TEL)03(6736)5678
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,053	△6.0	107	△52.4	106	△53.1	4	△96.8
2020年3月期第1四半期	4,310	3.9	226	26.0	226	24.8	149	45.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.53	—
2020年3月期第1四半期	16.37	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,211	5,170	46.1
2020年3月期	11,299	5,274	46.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 5,170百万円 2020年3月期 5,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想については現段階で業績の予想が困難なため未定です。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現段階において合理的に算定することが困難であるため未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期1Q	9,105,290株	2020年3月期	9,105,290株
2021年3月期1Q	192株	2020年3月期	192株
2021年3月期1Q	9,105,098株	2020年3月期1Q	9,105,104株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現段階において合理的に算定することが困難であるため未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発出、自粛要請等により、経済・消費活動が大幅に落ち込んでおり、非常に厳しい状況となっております。

食品・外食業界におきましては、節約志向が根強い市場環境の下で、販売競争が激化し、人手不足や働き方改革を背景とした人件費や物流コスト上昇などにより収益が圧迫される中、新型コロナウイルス感染症の甚大な影響を受けております。経営環境は大変厳しく、第二波の懸念もある中、先行きについても極めて不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社は経営理念としている「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、「“おいしい”で世界をつなぐ」をミッションに、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は4,053百万円（前年同四半期比6.0%減）、営業利益は107百万円（同52.4%減）、経常利益は106百万円（同53.1%減）となりました。なお、外食事業の休業期間における店舗運営固定費、商号変更に伴う包装材料廃棄損等を特別損失に計上したことにより、四半期純利益は4百万円（同96.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、当第1四半期累計期間より、従来食品品事業としていた報告セグメントの名称を食品事業に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

食品事業

食品事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、業態別の販売構成比が大きく変化しました。従来、売上の約半分を担っていた業務用は、自粛要請による外食需要の低迷・各種施設の休業、休校による学校給食関連の消失等、かつて経験のない落ち込みとなりました。緊急事態宣言が解除され、一旦は戻りかけた業務用ですが、第二波の不安が現実化しつつある中、当面の回復は難しいと考えております。

一方、量販店・生協等向けの一般家庭用については、巣ごもり需要の拡大により、業務用の落ち込みをカバーし、高水準の売上を確保することが出来ました。先行きは不透明ではありますが、今後も家庭を中心とした生活防衛型消費が継続されると見ております。

生産面については、4月に稼働スタートした千葉工場の新ナンラインが、コロナ禍における家庭消費の増加時機を上手く捉えることとなり、主力の「手のばしナン」を欠品させることなく、販売を大きく伸ばすことが出来ました。また、一昨年より本格稼働している、トルティーヤをはじめとしたピザ生地ラインも順調に稼働しております。

ヨーロッパの本格的な冷凍パンについても、オリンピックの延期・各種施設の休業等、市場環境の変化に対応しつつ、北欧リトアニアの海外パートナー企業との提携を深め、引き続き市場拡大、販売強化に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は3,568百万円（前年同四半期比11.9%増）、セグメント利益は440百万円（同35.0%増）となりました。

外食事業

外食事業におきましては、原材料価格や物流費・人件費の上昇、消費増税による消費マインド変化への対応が迫られている中、新型コロナウイルス感染症拡大により、外出自粛、休業要請に伴う臨時休業・営業時間の短縮等、事業への影響は多大なものとなっております。緊急事態宣言解除後も店舗利用の戻りは鈍く、また当面インバウンド需要の回復も見込み難いといった、極めて厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、お客様および従業員の安全を第一に、衛生管理の強化、店舗内空間における「3密」回避等の感染拡大防止を徹底し店舗運営を行いました。営業施策としては、宅配需要の高まりに応じた出前代行サービス対応店舗の拡大や、店頭販売による持ち帰り商品の拡充等、販売強化に取り組んできました。また、賃料の減免交渉等のコスト削減にも努めてまいりました。

当第1四半期累計期間の店舗展開については、居酒屋業態「一番どり」で1店舗の閉店、鯛焼きブランド「おめで鯛焼き本舗」で1店舗の出店、3店舗の閉店を実施しております。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は486百万円（前年同四半期比56.7%減）、セグメント損失は210百万円（前年同四半期はセグメント利益56百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ88百万円減少し、11,211百万円となりました。これは主に、売掛金が166百万円、有形固定資産が57百万円増加した一方、現金及び預金が331百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ15百万円増加し、6,040百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が127百万円、未払法人税等が182百万円減少した一方、借入金が345百万円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ103百万円減少し、5,170百万円となりました。これは主に、利益剰余金の配当金の支払によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから、引き続き未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルス感染拡大の動向を注視しながら、業績予想の算定が可能となった段階で、当期（2021年3月期）配当の見通しについてもあわせて速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,051	1,058,151
売掛金	2,595,992	2,762,354
商品及び製品	652,814	772,260
原材料及び貯蔵品	400,573	305,894
その他	182,278	197,554
貸倒引当金	△282	△295
流動資産合計	5,221,427	5,095,919
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,771,499	4,848,121
減価償却累計額	△3,193,328	△3,189,956
建物(純額)	1,578,171	1,658,165
機械及び装置	3,438,460	3,445,120
減価償却累計額	△1,661,249	△1,717,208
機械及び装置(純額)	1,777,210	1,727,911
その他	1,496,045	1,508,881
減価償却累計額	△512,238	△498,112
その他(純額)	983,806	1,010,769
有形固定資産合計	4,339,189	4,396,846
無形固定資産	148,123	137,631
投資その他の資産		
その他	1,592,272	1,582,584
貸倒引当金	△1,250	△1,250
投資その他の資産合計	1,591,022	1,581,334
固定資産合計	6,078,335	6,115,812
資産合計	11,299,763	11,211,731
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,696,644	1,568,943
短期借入金	300,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	505,000	495,000
未払法人税等	203,768	21,566
賞与引当金	150,368	56,085
資産除去債務	117,908	127,913
製品自主回収関連損失引当金	57,000	—
その他	869,142	962,714
流動負債合計	3,899,832	3,932,223
固定負債		
長期借入金	530,000	485,000
退職給付引当金	522,062	524,642
役員退職慰労引当金	517,423	522,633
資産除去債務	507,218	514,674
その他	48,477	61,725
固定負債合計	2,125,182	2,108,675
負債合計	6,025,014	6,040,898

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	922,939	922,939
資本剰余金	1,259,205	1,259,205
利益剰余金	3,079,523	2,975,051
自己株式	△36	△36
株主資本合計	5,261,631	5,157,159
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,117	13,600
繰延ヘッジ損益	—	72
評価・換算差額等合計	13,117	13,673
純資産合計	5,274,748	5,170,833
負債純資産合計	11,299,763	11,211,731

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	4,310,635	4,053,206
売上原価	2,577,201	2,543,098
売上総利益	1,733,433	1,510,107
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	533,886	395,720
賞与引当金繰入額	40,195	39,038
退職給付費用	11,648	9,215
役員退職慰労引当金繰入額	7,722	8,810
荷造運搬費	260,422	341,021
その他	653,048	608,552
販売費及び一般管理費合計	1,506,923	1,402,358
営業利益	226,510	107,749
営業外収益		
受取利息	1	6
受取配当金	918	885
受取手数料	304	306
受取賃貸料	1,314	684
その他	926	3,085
営業外収益合計	3,463	4,968
営業外費用		
支払利息	2,025	1,804
支払保証料	832	1,839
支払補償費	—	1,839
その他	785	985
営業外費用合計	3,644	6,468
経常利益	226,329	106,249
特別利益		
製品自主回収関連損失引当金戻入額	—	9,329
投資有価証券売却益	—	1,352
特別利益合計	—	10,682
特別損失		
店舗臨時休業による損失	—	57,841
社名変更費用	—	33,878
固定資産除却損	317	3,526
特別損失合計	317	95,246
税引前四半期純利益	226,011	21,685
法人税、住民税及び事業税	10,313	8,012
法人税等調整額	66,659	8,883
法人税等合計	76,973	16,895
四半期純利益	149,038	4,789

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度末に行った新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。